

横浜

横浜市立図書館報

第52号



「横浜吉田橋ヨリ馬車道之真景」(横浜市中央図書館蔵)

目次

- 特集：都市横浜の記憶 P2
- 図書館への意見・提案《報告》 P6
- 横浜市内地域図書館のご紹介⑤ P7
- 参考図書のあれこれ(第13回)：日本の詩歌(和歌・短歌・俳句を中心に)を調べる . . P8

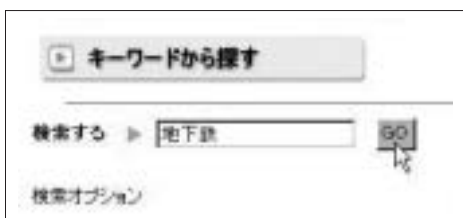
—— 都市横浜の記憶 ——

横浜市立図書館では、郷土横浜を知る、また、郷土の姿を後世に伝える資料を蓄積してきました。その中には、浮世絵や絵葉書など、他の図書同様に本棚に置いておくのは難しいため、これまでは閲覧を制限せざるを得ないものもありました。この度、こうしたオリジナル資料の魅力を広く伝え、あわせて横浜の歴史を目で見て、また、読んで楽しめるよう、ホームページ上に『都市横浜の記憶』と名づけたページを立ち上げ、デジタル化した資料を公開することにいたしました。今回は、この『都市横浜の記憶』の魅力について特集します。(URLは、<http://memories.lib.city.yokohama.jp/cats/index.html>です。)

『都市横浜の記憶』は5つのメニューから成り立っています。



1 情報の海へ……あなたの知りたい「横浜」は？



「情報の海へ」のタイトル文字をクリックすると、キーワード検索画面に展開します。

例えば、「地下鉄」と入力して[GO]ボタンをクリックすると、右図のような画面が開きます。画面上の「資料」「索引」「目次」「年表」の見出しにあるように、4つの切り口で横浜の歴史に迫ります。

最初に表示されるのは、「資料」のページです。図書、

「資料」「索引」「目次」「年表」の各見出しをクリックすると、画面に表示される情報を切り替えることができます。



絵葉書、浮世絵、絵図、歴史地図、写真などの書名、著者、目次情報から探せます。

「索引」のページ

キーワード	内容	著者/発行	頁
横浜の歴史	横浜の歴史	横浜の歴史	1
横浜の交通	横浜の交通	横浜の交通	2
横浜の産業	横浜の産業	横浜の産業	3
横浜の文化	横浜の文化	横浜の文化	4

『横浜市史』の索引と、『横浜の本と文化』（出版文化から見た横浜の文化誌。横浜市中央図書館刊）の索引から探します。多巻物の市史のどこを見れば良いかわかるのは便利です。『横浜の本と文化』では該当ページの本文を読むことができます。

「目次」のページ

書名	大項目	中項目	小見出し	頁
横浜の本と文化	歴史と文化	歴史	横浜の歴史	1
横浜の本と文化	歴史と文化	歴史	横浜の交通	2
横浜の本と文化	歴史と文化	歴史	横浜の産業	3
横浜の本と文化	歴史と文化	歴史	横浜の文化	4

中学校社会科副読本『横浜の歴史』と『横浜の本と文化』、『横浜成功名譽鑑』（明治43年刊の当時の官民の人名録）の全文から探します。本文該当箇所をインターネットで読むことができます。

「年表」のページ

西暦	月	日	内容	参照
1942	01	25	地下鉄、三ノ浦線の開通	横浜の歴史
1945	08	11	第二次世界大戦の終結	横浜の歴史
1946	07	26	横浜市の復興計画	横浜の歴史
1946	11	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1948	12	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1957	02	10	横浜市の再建	横浜の歴史
1958	04	27	横浜市の再建	横浜の歴史

『横浜歴史年表』『横浜市会の百年』『横浜商工会議所百年史』など、各分野の横浜の歴史書の年表の記述から探します。



「みなとみらい」で探したら、「検索条件に該当する情報は存在しません。」と出てしまいました。

→資料情報に該当がなくても、条件を変えて探すと見つかるかもしれません。



- ① 検索オプションをクリックします。
- ② 歴史年表で調べてみましょう。データ種別を歴史年表に切り替えます。
- ③ 昭和56年、都心臨海部総合整備計画の愛称が「みなとみらい」と決定した後の歴史が表示されました。



西暦	月	日	内容	参照
1956	02	10	横浜市の再建	横浜の歴史
1958	04	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1959	07	26	横浜市の再建	横浜の歴史
1960	11	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1961	12	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1962	01	25	横浜市の再建	横浜の歴史
1963	02	10	横浜市の再建	横浜の歴史
1964	03	19	横浜市の再建	横浜の歴史
1965	04	27	横浜市の再建	横浜の歴史
1966	05	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1967	06	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1968	07	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1969	08	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1970	09	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1971	10	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1972	11	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1973	12	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1974	01	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1975	02	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1976	03	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1977	04	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1978	05	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1979	06	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1980	07	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1981	08	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1982	09	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1983	10	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1984	11	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1985	12	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1986	01	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1987	02	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1988	03	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1989	04	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1990	05	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1991	06	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1992	07	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1993	08	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1994	09	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1995	10	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1996	11	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1997	12	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1998	01	01	横浜市の再建	横浜の歴史
1999	02	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2000	03	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2001	04	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2002	05	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2003	06	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2004	07	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2005	08	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2006	09	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2007	10	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2008	11	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2009	12	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2010	01	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2011	02	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2012	03	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2013	04	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2014	05	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2015	06	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2016	07	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2017	08	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2018	09	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2019	10	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2020	11	01	横浜市の再建	横浜の歴史
2021	12	01	横浜市の再建	横浜の歴史

2 歴史の森へ

横浜の近代史を、「開国開港期」から「現在」までの8つの時期に分けて紹介します。知りたい時代をクリックすると、年表で主な出来事を、また各時代の『横浜の歴史』を読む』をクリックすると、読みたい部分の本文を表示できます。

各時代の年表

『横浜の歴史』本文

3 本の宇宙へ

『横浜の本と文化』の目次が開きます。「小見出し」の欄をクリックすると本文テキストが、また、図表や写真付で読みたい場合は、隣の「DjVu」(次ページ参照)をクリックすると、原本のページ画像が開きます。検索枠にキーワードを入力して探すこともできます。

4 きょうの歴史

今日の日付で過去にどんな出来事があったのかを紹介しします。月、日それぞれの枠の▼をクリックして、自分の知りたい日付に変えることもできます。


5 web展示会

自宅のパソコンで横浜市立図書館所蔵資料の展覧会を楽しむことができます。「東海道・市内三宿場を描いた浮世絵」「史料が語る横浜の歴史」など5つのテーマと、時代別に画像の一覧を表示します。スライドショー形式で画像を順番に拡大表示することもできます。

『都市横浜の記憶』の魅力：美しい画像データ

浮世絵や歴史地図などを自宅のパソコンで見ていただくに際して考えたのは、パソコンの画面より大きなオリジナル資料について、全体像の把握と、実際に手にとって一部分をアップで見るときの感覚の両方を伝えることです。

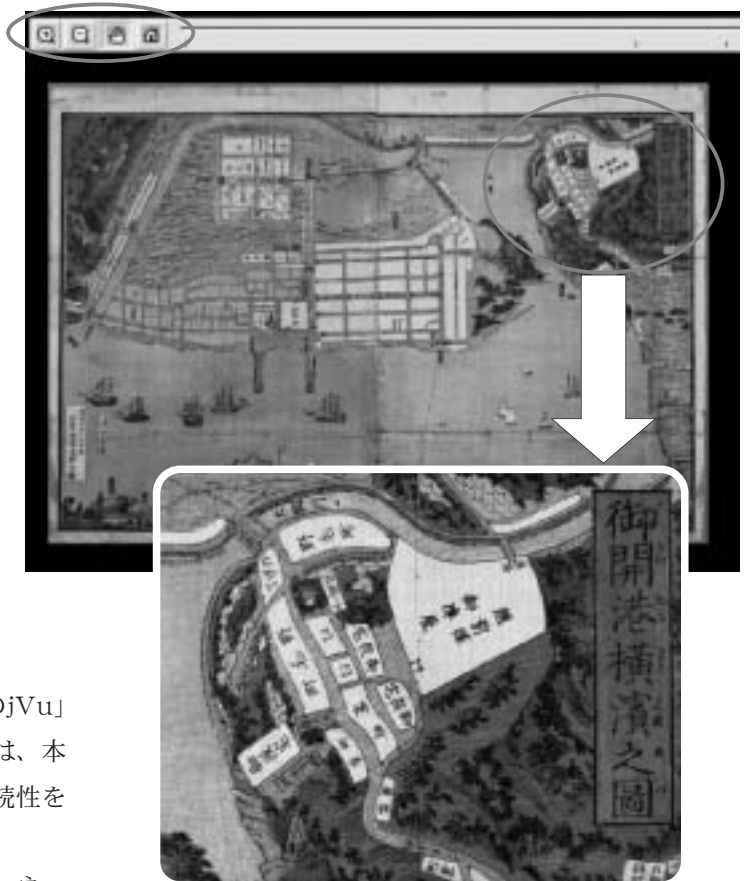
画像データの下に、「高精細画像（Mr.Sid…ミスターシド）」という表示がされています。MrSIDというのは、アメリカで衛星画像の圧縮用に開発された技術で、巨大な画像データをパソコンでの通信に負担がかからないよう圧縮し、さらに受け取ったデータは元のデータとほぼ同等の画質で、拡大しても、ぼけることなく鮮明に表示できます。

右の『御開港横浜之図』（一川芳員、新栄堂東屋新吉1863年刊）は、元図は46.2×66.7cmですが、最初は縮小された全体図が表示されるので、画面上の  ボタンをクリックしてから地図画面上でクリックすると、拡大表示することができます。何回かクリックすると、縮小画像ではわからなかった、「野毛町」という地名まで読み取れるようになりました。拡大した画像は、手のひらマークをクリックしてから、地図画面上で左ボタンを押しながらマウスを動かすと上下左右好きな方向に表示場所を移動させることができます。

また、『横浜の本と文化』の本文画像は、「DjVu」（デジャヴ）という形式で作られています。これは、本のように文章と画像が混在する場合、文字の可読性を保持しながら元画像を圧縮する技術です。

※MrSID、DjVu画像を見るためには、インターネット上で無料でダウンロードできる専用の画面表示用のソフトが必要です。

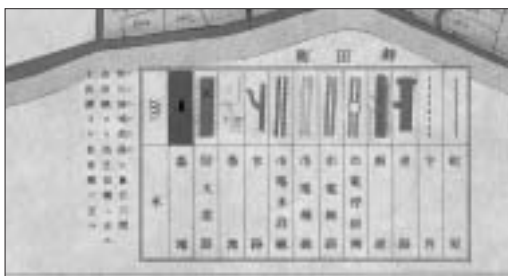
ツールボタンは4つあり、左から「拡大」「縮小」「表示画像の移動」「最初の画像に戻る」の機能があります。



開港当時の横浜港周辺図です。当時は中央図書館の地元である野毛のあたりは海に面していました。瓦版『横浜湊はなし』では、野毛に「名物干海苔あり」と書かれています。（『横浜の本と文化』p40）

大正の都市計画

関東大震災では、多数の人命が失われ、個人、社会の資産に甚大な被害をもたらしました。震災後、政府は復興院（後に局に）を設置して東京、横浜の復興計画を策定し、市街地の区画整理事業を実施しました。震災



は人口密集地域に起こったため、地震による被害はもとより、その後発生した火災による被害も甚大だったので、それを教訓に防火帯の確保を目的として、街路の拡張や公園用地の確保が図られました。

1925年桂秋堂刊の『横浜都市計画分割図』を拡大すると、凡例に「防火街路」とあり、当時の南太田町周辺では「吉田橋ヨリ南吉田橋」、「千秋橋ヨリ長者橋」に幅6間（約11メートル）の防火地域街路が敷かれたと書かれています。

図書館への意見・提案《報告》

中央図書館1階に設置してある「図書館への意見・提案」ポストに、平成14年4月から平成15年12月の1年9か月の間に寄せられた意見・提案は、566通、616件でした。図書館の運営に関して、たくさんのご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。お寄せいただいたご意見・ご提案は、市立図書館全体の問題として受け止め、図書館運営の参考にさせていただきます。

いただいたご意見の中から、いくつかご紹介いたします。

- ・貸出中や予約中の本の確認を、インターネット上でできるようにしてもらえますか？
- ・予約の本が用意できた時の通知手段として、電子メールがあると助かります。

インターネットを利用した図書の予約の受付につきましては、平成17年10月からの実施に向けて準備を進めています。

実施後は、ご自宅などのパソコンからインターネットを通じて図書の予約・取消しやご自身の予約・貸出状況の確認ができるほか、予約した本が用意できた連絡を電子メールで受けることができるようになります。

詳細につきましては、各図書館でのポスターやちらし、市立図書館ホームページなどを通じてお知らせしてまいりますので、今しばらくの間、お待ちくださいますようお願いいたします。

- ・インターネットが利用できるコーナーが欲しい。

平成17年1月から、中央図書館（4階）、保土ヶ谷図書館（3階）、都筑図書館で、ご持参の無線送受信機能のあるパソコンから、インターネットに接続が可能となりました。ご利用いただけるのは、サービス事業者（NTTコミュニケーションズ；サービス名「ホットスポット」）と利用契約されている方です。

詳細につきましては、図書館に設置してある「ホットスポット」のパンフレットをご覧ください。サービス事業者にお問い合わせください。



- ・購入してもらいたい本がある時は、どうしたら良いですか？

横浜市立図書館で所蔵していない本を希望される場合も、予約サービスと同じように「予約申込書」に記入してカウンターへお出してください。ご希望にお応えできない場合も必ずご連絡いたします。また、横浜市では所蔵していない資料も、市外の図書館から借り受けてご利用いただくことが可能です。詳しくは、カウンターの職員にご相談ください。

まだ出版されていないものは予約できませんので、ご注意ください。

- ・中央図書館では、読みたい雑誌が見つかりません。

中央図書館では、様々な分野の雑誌を所蔵しており、分野ごとに5つのフロアに分けて配置しています。

地下1階	音楽・映像部門（音楽・映画など）
1階	ポピュラー部門 （旅行・料理・スポーツ・ファッションなど）
3階	一般調査部門（総合誌・言語など）
4階	社会科学・自然科学部門（政治・経済・法律・コンピュータ・医療・技術工学など）
5階	人文科学部門（文学・芸術など）

なお、フロアに配架せず、書庫で保管している雑誌もあります。ご覧になりたい雑誌が見つからない場合は、カウンターの職員にお尋ねいただくか、検索機でご確認ください。

横浜市内地域図書館の ご紹介⑤

横浜市の図書館は、中央図書館と市内各区の17地域図書館から成り立っています。この市内18の図書館は、連絡車で結ばれていて、お近くの地域図書館に目的の本がなくても、市内いずれかの図書館に所蔵していれば、取り寄せてお貸しすることができます。

各地域館でも各館ごとに、特色あふれる資料を所蔵していますので、随時各館のご紹介をします。今回は戸塚図書館です。

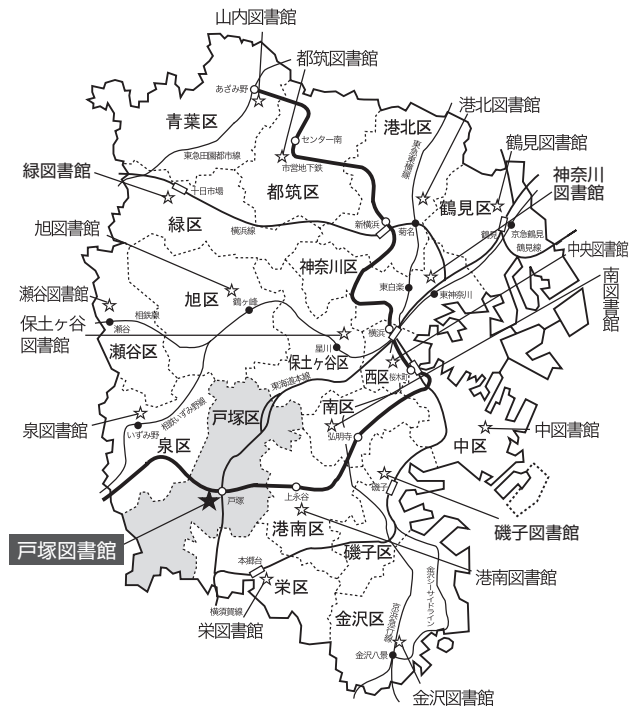
戸塚図書館

横浜市営地下鉄・JR戸塚駅西口を出て、西口交番前から、図書館通という看板が出ている道をまっすぐ歩いておよそ8分、つきあたりに戸塚センターという建物があります。その1階が戸塚図書館です。

また、バスをご利用の方は、戸塚バスセンターで降り、旭町通商店街を右に折れてまっすぐ進み、戸塚共立第1病院の先の角を左折し、20mほど行った右側が戸塚図書館です。所要時間は、こちらも約8分です。

戸塚センターに入ると、ホール正面が図書館入口です。入口の左手には図書館の展示棚と展示箱があり、区内の生涯学習関係の団体や学校等の展示にお貸しし、また、右手にはリサイクル文庫が設置されています。

館内に入ると、正面から左にかけて一般図書、右奥がこども向けの図書です。



戸塚図書館は、昭和53年11月の開館以来、戸塚駅やバスターミナルに近いため、近くにお住まいの方だけでなく、通勤・通学の方も含め多くの皆様に親しまれてきました。蔵書数は約19万2千冊で、地域図書館第2位となっています。(平成16年3月現在)



当館は、おとなの方の利用が多いので、一般向け図書では、年齢の高い方のご利用も念頭に資料を集めるようにしています。また、地域を重視する観点から、戸塚区に関する郷土資料はできるだけ集めています。

図書館は、本以外にも様々な形で情報提供をする施設です。館内には戸塚宿の複製浮世絵パネルがあり、平成16年には、戸塚宿400年のイベントにあわせ、区内の埋蔵文化財や図書館にある資料の展示を行いました。また、17年には、読み聞かせボランティア講習会(ストーリーテリング講座)を行い、大変好評でした。地域で読書会活動等を行う団体に対しての団体貸出、視覚障害のある方々への対面朗読、録音図書の作成も行っていますのでご利用ください。

これから、身近な情報ステーションとして戸塚図書館をお役立てくださるようお願いいたします。

これから、身近な情報ステーションとして戸塚図書館をお役立てくださるようお願いいたします。

各図書館にある検索機、または横浜市立図書館ホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/>) で、横浜市立図書館の蔵書、約360万冊(平成16年3月末現在)を調べることができます。また、横浜市内の図書館で所蔵していない、あるいは調べることでできない本の場合は、県立図書館・他都市の図書館・類縁機関・最終的には国立国会図書館に依頼することができます。地域図書館はこれらの窓口にもなりますので、ぜひご利用ください。

参考図書のあれこれ (第13回)

日本の詩歌(和歌・短歌・俳句を中 心に)を調べる

日本固有の文学形式である和歌・短歌・俳句には、多くの方が親しみや関心をお持ちではないでしょうか。しかし、調べたくても、句の一部しかわからないため、その句や詠み手についての調査が一步も進まないというのも実は結構あることです。そこで、今回は詩歌について、誰の何という句なのかを特定する手がかりになる資料を中心に紹介します。

なお、参考図書は、多くの方にご利用いただくために、図書館では基本的に館内閲覧のみです。また、一部の図書館だけが所蔵している図書もあります。詳しくは、各図書館へお問い合わせください。

和歌・短歌を調べる

和歌・短歌を探す

和歌・短歌の一部分・作者や歌集などの手がかりから調べるための資料です。古典や有名な作品を対象としたものが中心で、知られていないものや現代の作品を調べる資料は決して多いとはいえません。

『新編国歌大観』歌集編・索引編 全10巻20冊

「新編国歌大観」編集委員会編 角川書店 1983-1992年

万葉集や古今和歌集から近世に至るまでの和歌約45万首を収録しています。各巻は歌集と索引に分かれ、歌集には解題がついています。索引は各句から引くことができ

ますが、全巻を通じての索引がないので、収録歌集が不明の際などは、各巻毎に索引を引く必要があります。

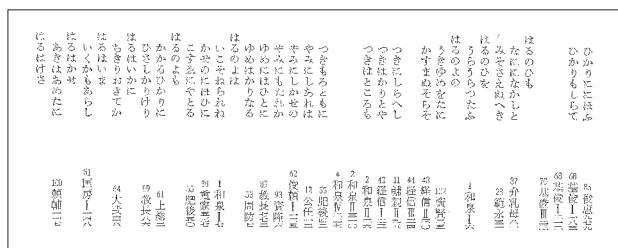
これには、CD-ROM版もあり(『新編国歌大観CD-ROM』中央図書館3階CD-ROMコーナー8号機)、こちらは句や作者・語彙などから

も検索ができます。収録巻数や歌集名・句の全文がわかり、また、本文も表示することができるので便利です。

『私家集大成』全7巻

和歌史研究会編 明治書院 1973-1976年

中古・中世及び近世初期までの私家集533点をほぼ



{初句索引}

歌人の没年に沿って収録しています。各巻毎に解題と初句索引を付しています。

『近世和歌撰集集成』全3巻

上野洋三編 明治書院 1985-1988年

近世初期から中期に至る和歌集を収録し、収録歌数は約17,000首。各巻に解題及び初句索引と人名索引があります。

『日本名歌集成』

秋山虔(ほか)編 学灯社 1988年

記紀万葉から現代短歌の中から、名歌とみとめられるもの上代363首・中古550首・中世350首・近世194首・近代550首、計2,007首を精選した、鑑賞を目的とした辞典です。『小倉百人一首』すべてと刊行時の中学高校検定教科書掲載歌をできる限り採用に努めています。収録歌人解題索引・収録歌書解題・掲出歌索引があります。

『物語和歌総覧』全2巻

久曾神昇(ほか)編 風間書房 1974年

本文編と索引編からなり、本文編は創作物語37点、物語歌集6点及び御伽草子から本文の順序に沿って歌のみを掲載しています。索引編は収めた和歌の全句索引です。

『現代短歌分類辞典』全219巻

津端亨編 現代短歌分類辞典刊行所 1954-1996年

明治から昭和の短歌を個人歌集2,700冊を中心に収録しています。第1巻刊行時点には、明治初年から昭和28年までの主要現存歌人の歌集をもとに16万首を収めていましたが、その後追加され、最終的に昭和54年に60万首になりました。

各句の単語の品詞別に五十音順に配列しています。ア

行分で158巻、力行からは改装版として1巻から61巻までとなっています。巻末には各巻所収の作家表を、力行1巻には収録されている歌集の一覧表が付されています。

和歌・短歌の事項などを調べる

『和歌大辞典』

犬養廉 [ほか] 編 明治書院 1986年

上代から近世までに限り、1万語を超える項目を五十音順に配列した総合辞典です。項目は人名・作品・用語についてです。巻末に年表と叢書収録歌書一覧があります。

『現代短歌大事典』

大島史洋 (ほか) 編 三省堂 2000年

明治以降を対象とした総合事典です。歌人(評論家)・事項・歌誌・歌集・歌論・結社・短歌用語について約1,500項目を五十音順に配列しています。とりあげた歌人は約1,000人、代表歌鑑賞として約1,000首を収録しています。実際に作歌する人たちの参考になるよう工夫されています。全集・叢書・辞典・事典一覧、受賞一覧、近・現代短歌史年表と人名索引、事項索引、引用歌索引があります。

『和歌文学辞典』

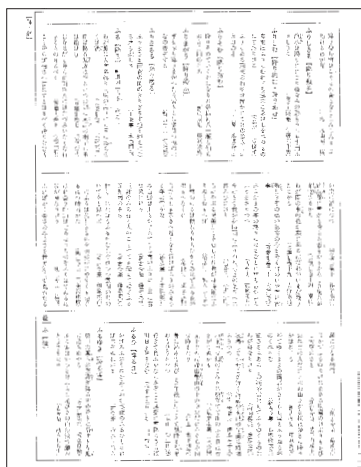
有吉保編 桜楓社 1982年

上代から近世までの和歌に関する諸事情(人物・作品・和歌用語など一般的事項)約2,800項目について解説しています。人物は広く伝承上の作者も採り、作品は和歌に関係の深い随筆・日記なども収録されています。上代から近世までの関連事項年表、人名・書名・一般事項の索引があります。

『日本歌語事典』

佐佐木幸綱 [ほか] 編 大修館書店 1994年

記紀万葉から現代短歌までを対象に、歌語として名所・歌枕や枕言葉ばかりでなく、それぞれの時代の短歌に採用された約13,000語を選び、この歌語を視座にどの時代でどの語がどう歌われどう歌い継がれてきたかを



知ることができます。例歌は約3万首を収録しています。見出し語について五十音順の索引と歌語逆引き索引、収録歌人(近世以降)生年一覧が付されています。

『岩波現代短歌辞典』

三枝昂之 [ほか] 編 岩波書店 1999年

作歌と鑑賞を目的として、主に明治から現代に至る1,329語の歌ことばと530項目の事項を解説しています。事項には用語・事項・人名・結社名・雑誌名が取り上げられています。作者・歌集別を含む引用歌一覧、引用歌上句索引・事項項目分類別一覧・歌語項目分類別一覧・20世紀短歌史年表が付されています。

『短歌年鑑』

角川書店

雑誌『短歌』の1月増刊号として毎年12月に出版されています。該当する年についての歌壇の動向や国内の結社・歌人団体について知ることができます。全国歌人人名録も付されています。

狂歌を調べる

『狂歌大観』 全3巻

狂歌大観刊行会編 明治書院 1983-1985年

中世から近世前半期に至る狂歌の歴史が概観できる辞典です。22,884首を収録しています。

第1巻本篇 慶長年間から元文年間に至る狂歌を中心に、ほぼ年代順に配列しています。

第2巻参考篇 中世から近世初期の記録・軍記・笑話・歌集・地誌などに含まれる落首・狂歌のみの抜粋と図録篇(挿絵集及び狂歌絵本集)です。

第3巻索引篇 狂歌及びその作者についての索引です。

俳句を調べる

俳句を探す

俳句の一部・作者や句集などの手がかりから調べることができます。和歌・短歌と同様に古典や有名な作品について探すための資料が中心です。

『俳句大観』

麻生磯次 [ほか] 編 明治書院 1971年

俳句の創始期から現代までの2,843句(挿入句を加えて約4,000句)を集録し、季語・出典・年代・語釈・評

解の順に解説しています。俳句の歴史の進展に応じて、創始期・貞門期・談林期・芭蕉・蕉風・享保期・蕪村・中興期・一茶・化政天保期・近代の11期に分かれ、それぞれの俳風をあきらかにすることを目指しています。

付録に俳人略伝・俳書解題・俳諧史・俳句索引があります。姉妹篇『近代俳句大観』（秋元不死男〔等〕編 明治書院 1974年）は、明治・大正・昭和までの俳人322名を選び3,236句（挿入句を加えて約7,500句）を集録。

『近世俳句大索引』

安藤英方編 明治書院 1959年

明治以前の俳句およそ6万句を、その初句もしくは第6字以下をも含めて五十音順に配列し、作者・出典・季別を記しています。

『分類俳句大観』全12巻、別巻

正岡子規編著 日本図書センター 1992年

正岡子規が室町時代の連歌の発句から江戸時代末期の俳諧の発句まで、12万を超える句を集めて分類整理したものです。

昭和3年から4年に刊行された『分類俳句全集』全12巻を複製し、別巻1巻を加えて刊行されたもので、別巻に甲号分類・乙号分類及び1巻から12巻の総目次があります。

分類の方法は 次のとおりです。

- 甲 季語による分類。歳旦・春・夏・秋・冬に分け、それぞれを時例・天文・地理・人事・動物・植物に分類。
- 乙 俳句の素材による分類。建築・飲食・器物・外国品・人事・女流・地名・釈教などに分類。
- 丙 形式的や実質的といった観点から様々に分類。

俳句の事項などを調べる

『俳諧大辞典』

伊地知鉄男〔ほか〕編 明治書院 1957年

古俳句に重点をおいています。連歌・俳諧・川柳・雑俳・現代俳句に関係ある項目約5,000について解説しています。連歌俳諧略年表・書名索引・人名索引・季語索引・雑索引・難訓索引があります。

『現代俳句大辞典』

安住敦〔ほか〕編 明治書院 1980年

古俳句に重点をおいた『俳諧大辞典』に対し、正岡子規以後の近代及び現代俳句を主とした辞典。現代俳句に関係ある3,000項目について解説しています。

項目としては、人名（句集）・書名・誌名・事項（用語を含む）・季語を収録し五十音順に配列しています。現代俳句年表と人名・書名・雑誌・季語・事項の索引があります。

『俳文学大辞典』

尾形仍〔ほか〕編 角川書店 1995年

連歌・俳諧・雑俳・川柳・近現代俳句に関する人物・書目・雑誌・用語・事項など、約10,300項目について解説した短詩型文学の総合辞典です。付録として叢書目録・俳誌一覧・主要俳句賞一覧・俳文学年表と、人物・書目雑誌・用語事項・難読項目の各索引があります。

『評解名句辞典』

麻生磯次、小高敏郎著 創拓社 1990年

本篇である「名句辞典」と付篇の「参考篇」からなっています。本篇は古来名句として名高いもの及び名句ではないが広く知られている有名な1,551句を五十音順に配列し評釈を加えています。



「参考篇」は、近代俳句篇・俳諧史・作者解説・俳書解題・索引となっています。近代俳句篇は明治以降の主要な俳人を五十音順に、略伝・代表作・主要句1,083句についての

解説をしています。索引は、集録する俳句について初句・第二句・作者・俳書・季語からそれぞれひくことができます。

『俳句研究年鑑』

富士見書房

『俳句年鑑』

角川書店

雑誌『俳句研究』及び『俳句』の1月増刊号として毎年12月に出版されています。該当する年について、俳壇の動向や国内の結社・俳誌について知ることができます。全国俳人の住所録も付されています。

『カラー図説 日本大歳時記』

講談社編 講談社 1983年

季語を春・夏・秋・冬・新年に区分し、その中を時候・天文・地理・生活・行事・動物・植物の部類別に配列しています。季語の解説と例句及び名句の鑑賞に豊富なカラー図説資料が添えられています。五十音順の季語索引と季節別の季語目次が付されています。

この歳時記は、区分別に5巻からなるものと1冊にまとめた座右版があります。

川柳を調べる

『新編川柳大辞典』

柏谷宏紀編 東京堂出版 1995年

江戸時代の川柳の解釈、鑑賞、研究に供することを目的に編纂されています。『俳風柳多留』167編、川柳評万句合、初代川柳選句集、『日本史伝川柳狂句』にある語句を項目に、例句を収載しています。

主要語句索引と江戸川柳主要文献一覧があります。

『川柳総合事典』

尾藤三柳編 雄山閣出版 1984年

広い意味での「古川柳」に対し、明治30年代からの「新川柳」を対象とした事典です。俳人・結社・誌名等を項目として取り上げ、加えて「新川柳」の史的概観・新川柳概史・年表を付しています。人名・結社・誌名・事項・近代句・古句・狂句の索引があります。

その他

詩歌についての本を探す

『日本の詩歌全情報』(27/90、91/95、1996-2000)

日外アソシエーツ編 日外アソシエーツ

1927年から2000年の間に国内で刊行された詩・短歌・俳句などの作品集を、著者名の五十音順に収録しています。出版社や本の内容などを知ることができます。

全集・個人全集に入っている作品を探す

※この場合の作品とは、全集の中の各篇などをさします。短歌・俳句の一句ではありません。

『詩歌全集・内容総覧』『詩歌全集・作家名総覧』

『詩歌全集・作品名総覧』

各全2巻 青山毅編 日外アソシエーツ 1988年

1929年から1984年の間に刊行された詩歌文学全集を、Ⅰ部詩全集・Ⅱ部短歌全集・Ⅲ部俳句全集に分け、探す作品がどの全集に収録されているかを各全集の内容(目次など)・作家名・作品名から探すことができ

ます。継続版として、それぞれに第Ⅱ期も刊行されています。

『作品名から引ける日本文学詩歌・俳人個人全集案内』

日外アソシエーツ編 日外アソシエーツ 1992年

1984年10月までに刊行された日本近代文学の詩人・歌人・俳人の個人全集115種延べ932冊から87,000件の作品について、作品名から収載されている本を調べることができます。

人物を調べる

『詩歌人名事典』

日外アソシエーツ編 日外アソシエーツ 2002年

明治時代の著名人から最近の受賞者、地道に活動を続ける人々まで、詩人・歌人・俳人6,349名の人名事典です。漢詩・童謡・川柳などの分野も含め、従来の文学事典には集録されていない人物も多数掲載しています。

姉妹編『和歌・俳諧史人名事典』(日外アソシエーツ編 日外アソシエーツ 2003年)は、古代から幕末までの和歌・連歌・川柳・漢詩文などの分野で活躍した2,963人を集録しています。

図書館の蔵書検索で探す

館内にある利用者用検索機や、インターネットの蔵書検索で作品名をタイトル検索した時に、その作品を収録している全集・個人全集も検索結果に含まれていることがあります。これは、全集の内容が横浜市立図書館の蔵書データに収められている場合です。残念ながらすべての全集について収録作品のデータが入っているわけではないので、蔵書検索で探せないこともあります。作品を探す有効な手段ではあります。東京都立図書館など、蔵書数の多い図書館で試してみるとよいでしょう。

横浜市立図書館 蔵書検索

<http://www.lib.city.yokohama.jp/>

東京都立図書館 蔵書検索

<http://catalog.library.metro.tokyo.jp/>

今回ご紹介したのは、図書館資料のほんの一部です。調べ物で分からないことがある場合は、お気軽にお尋ねください。



横浜元町通り（横浜市中央図書館蔵）

横浜市立図書館

中央図書館（移動図書館） 262-0050（代表）	瀬谷図書館 301-7911	保土ヶ谷図書館 333-1336
旭図書館 953-1166	金沢図書館 784-5861	都筑図書館 948-2424
泉図書館 801-2251	港南図書館 841-5577	鶴見図書館 502-4416
磯子図書館 753-2864	港北図書館 421-1211	戸塚図書館 862-9411
神奈川図書館 434-4339	栄図書館 891-2801	中図書館 621-6621（市外局番は045）
情報ダイヤル 262-0040	ホームページ http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/	

※図書館ホームページに、図書館報総目次が掲載されています。第49号からは、館報本文も掲載しています。

編集・発行 横浜市中央図書館 企画運営課 横浜市西区老松町1
発行日 平成17年 3月31日 横浜市広報印刷物登録 173046号 A-ME160